※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	発展英語Ａ	2	２～４	英語総合演習テキスト Streams 増進堂

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

少し長めの文章の読解を通して、１年生で学習した文法や表現の復習を序盤は行いつつ、中盤からは新たな文法・表現について学んでいきたいと思います。また、読解だけでなく手紙の作成や買い物や道案内、海外旅行など実際の場面でよく使用される表現の習得を目指し、実際に英語を用いてコミュニケーションを行う機会を設けていきたいと思います。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・はっきりと話されれば、身近な話題についてその文意を理解することができる。 ・日常的な挨拶ができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 ・決まった表現でゆっくりはっきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、内容を理解することができる。 ・趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。	・簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近な話題などの内容を理解することができる。	・日常的な挨拶ができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 ・天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。	・自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。 ・簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）を短文ですることができる。	・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。

３ 学習評価（評価の観点と実施方法）

※令和４年度以降入学生用

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常的な話題を扱った文章に関して、使用されている語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り書き手の意図を把握することが出来るようにする。	身近な出来事や日常的な話題について、必要に応じて使用する語句や文を考えながら、自分自身のことや自分の意見を英語で話したり書いたりすることが出来る。	英語の背景にある文化や人の理解を深め、主体的、自律的に英語を活用しようとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Unit1 Unit2 Unit3	話す	a: 数字を英語で発音することができる。 b: 生年月日や年齢など、数字を含んだ自分の情報を英語で表現することができる。 c: 生年月日や年齢など、数字を含んだ自分の情報を英語で表現しようと取り組んでいる。	スピーチテスト
		書く	a: 現在形・過去形を使い分けて文章を作成することができる。 動詞を正しく過去形に直すことができる。 b: 生年月日や年齢を含めた自己紹介の文章を正しく書くことができる。 c: 生年月日や年齢を含めた自己紹介の文章を、今まで学習した様々な表現も含めながら書こうと取り組んでいる。	授業 定期テスト
		読む	a: 現在形・過去形の意味の違いを区別し文章の意味を把握することができる。	授業 定期テスト
		聞く	a: 英語で発音された数字を正しく聞き取ることができる。	授業
	中間考査			
	Unit4 Unit5 Unit6	話す	b: 英語を用いて初対面の人とのあいさつや自己紹介を行うことができる。 c: 英語を用いて初対面の人とあいさつや自己紹介をしようと取り組み、出来る限り多くの表現を用いて様々な情報を伝えようと取り組んでいる。	スピーチテスト
		書く	a: 助動詞 can, must, may ,should, will のそれぞれの意味を理解し、それらを区別して英文を書くことができる。 能動態の文章を受動態に変換することができる。 不定詞の３つの用法を区別して英文を書くことができる。	授業 定期テスト
		読む	a: 助動詞 can ,must ,may, should ,will のそれぞれの意味を理解し、それらが使われた文章の内容を把握することができる。 受動態が使われた文章を、能動態と意味を区別して訳すことができる。 不定詞の３用法を区別して訳すことができる。 あいさつや自己紹介で使われる英語表現を理解している。	授業 定期テスト
		聞く	a: 相手のあいさつや自己紹介について正しく情報を聞き取ることができる。 b: 相手の英会話に対して適切な相槌、あいさつを返すことができる。 c: 相手の英会話に対して適切な相槌、あいさつを返そうと取り組んでいる。	スピーチテスト
	期末考査			
後期	Unit7 Unit8 Unit9	話す	a: 買い物・道案内・入国審査の場面で使用される表現を理解している。 b: 設定された場面において、適切な表現を用いて相手の質問に対して返答することができる。	スピーチテスト

※令和４年度以降入学生用

			c: 設定された場面において、適切な表現を用いて相手の質問に対して返答しようと取り組んでいる。	
		書く	a: 目的語に不定詞を取るものと動名詞を取るものの違いを理解して文章を書くことができる。 現在分詞と過去分詞を区別して正しい英文を書くことができる。	授業 定期テスト
		読む	a: 動名詞と分詞の～ingの違いを区別して英文を訳すことができる。 現在分詞と過去分詞の意味の違いを区別して英文を正しく訳すことができる。	授業 定期テスト
		聞く	a: 買い物・道案内・入国審査の場面での相手の質問を理解することができる。 b: 話者の会話を正しく聞き取り、適切な相槌を返すことができる。 c: 話者の会話を正しく聞き取り、適切な相槌を返そうと取り組んでいる。	スピーチテスト
	中間考査			
	Unit10 Unit11 Unit12	話す	a: 病院やファーストフード店で使用される表現を理解している。 b: 病院やファーストフード店の場面で使用される表現を用いて会話することができる。 c: 病院やファーストフード店での場面で使用される表現を用いて会話しようと取り組んでいる。	スピーチテスト
		書く	a: 比較級・最上級を用いて文章を書くことができる。 関係代名詞 who や which の使い分けを正しく行い文章を書くことができる。 b: 関係代名詞を用いて自分の身の回りのものを詳しく説明する文章を書くことができる。 c: 関係代名詞を用いて自分の身の回りのものを詳しく説明する文章を書こうと取り組んでいる。	授業 定期テスト
		読む	a: 比較級・最上級が使われた文章の意味を把握することができる。 関係代名詞が使われた文章を正しく読み取ることができる。	授業 定期テスト
		聞く	a: 比較級を用いた質問を聞き取ることができる。 病院やファーストフード店で使用される英語の質問を聞き取ることができる。 b: 話者の会話を正しく聞き取り、適切な相槌を返すことができる。 c: 話者の会話を正しく聞き取り、適切な相槌を返そうと取り組んでいる。	授業 スピーチテスト
	年度末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度